

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 13 No. 39 TOTAL 558 平成 23 年 5 月 30 日 第 576 回例会

【例会日】 毎週月曜日 12:30~13:30

【例会場】 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アパローム紀の国

【事務局】 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/田原サヨ子 [会報委員]
副会長/安宅 浩一 ○北畑 充香 ○石垣 秀幸
幹事/野村 伸 石橋瑳禧子 三木 民生



2010-11年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

RI会長 レイ・クリングスミス

2010-11年度
アゼリアロータリーのテーマ

『行動するロータリアンを目指そう』

〈本日の例会〉

- 第 576 回例会 5 月 30 日(月)
- ☆ 第 5 回クラブ協議会 (全員参加型)
- 「委員会活動報告」13:00~14:00 (30分延長)
- ☆ 第 1 回次年度クラブ協議会 (例会終了後)

〈次回のお知らせ〉

- 第 577 回例会 6 月 6 日(月)
- ☆ 誕生会
- ☆ ワンワン基金贈呈式
- 社会福祉法人日本ライトハウス
常務理事 橋本 照夫様

〈前回の例会記録〉

- ロータリーソング アゼリアの花咲く丘
- ゲスト紹介 元巨人軍(箕島春夏連覇メンバー)上野敬三様
- ビジター紹介
- 出席報告 会員数46名
本日の出席(5/23) 31/45名 68.88%
前々回修正出席(5/9) 30/45名 66.66%
- メイクアップ 役員及びクラブ行事へ 0名

〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	5月30日(月)	クラブフォーラム「第4回I.D.M.発表」
和歌山	5月31日(火)	「『あすのWA!』とNPO活動」
和歌山サンライズ	5月31日(火)	
和歌山東南	6月1日(水)	新入会員卓話
和歌山西	6月1日(水)	例会休会
和歌山東	6月2日(木)	休会
和歌山城南	6月2日(木)	
和歌山南	6月3日(金)	卓話「エネルギーについて」
和歌山中	6月3日(金)	

会長報告



会長 田原サヨ子

5月17日早朝、済州日出ロータリークラブの玄会長様はじめ計5名の皆さまは、無事チェジュに帰られ、たいそう喜んでおられたとのことでした。ここにご報告と、皆様のご協力に対しお礼申し上げます。

次に、先日お話しした2010-2011年度RI会長賞の賞状が届きましたので、ご披露いたします。事務局に掲示しておきますので、どうぞご覧ください。

さて、本日卓話をしていただく上野敬三様、ようこそお越しくださいました。実は私は彼と昔からの知り合いです。と申しますのも、以前私は田原塾と言う名の学習塾を開いておりまして、彼は田原塾の塾生だったのです。大変まじめな生徒で、野球の練習は勿論のこと塾でも熱心に勉強をしておりました。野球の練習で、どのように遅くなくても必ず塾へやって来ましたね。練習着を着替える間もなく、泥んこのユニホームとスパイクを身につけたまま「ハー、ハー」息をしながら、元気よく「こんばんは、先生今つきました」と君の大きな声、その時のこぼれるような白い歯と真黒に日焼けした笑顔は今でも覚えています。

また1979年(今から32年前)箕島高校が尾藤監督指導のもと彼が選手として、甲子園で春夏連覇した時のことが、まるで昨日のこのように思い起こされます。その時の記念として頂いた飾りの皿を、我が家の宝として、今でも大切に田原学園の応接室に飾ってあります。

本日の卓話どうぞよろしく願いいたします。



1979年春夏連覇記念飾り皿



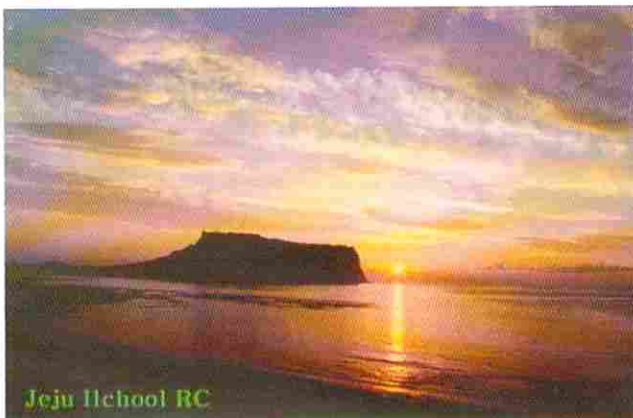
幹事報告



幹事 野村 伸

ハイライト米山回覧します。クラブ協議会の委員会報告書の提出お願い致します。

日出RCより、額と、仮調印の時の写真をいただきました。回覧します。



2010年度の定款細則が出来ましたので配布させていただきます。

会長エレクト報告



後和信英会員

次年度の組織図(案)をボックスにて配布させていただきました。

委員会報告

◎世界社会奉仕委員会

太田完治会員



5月22日(日)に2010~11年度長期受入学生への第5回オリエンテーションがりんくう国際物流センターで開催され、エミリーさんと参加いたしました。受入学生は「大震災の日本について思うこと」「帰国までの目標」、これらを踏まえて5~7分程度スピーチがありました。

エミリーさんのスピーチはとても立派で、感動いたしました。是非6月6日の例会時にも発表して下さいとお願いしましたので、皆さん楽しみにしてください。

外部卓話

「高校野球と私」

元巨人軍(箕島春夏連覇メンバー) 上野敬三様



高校野球を始める前に、箕島高校に入学するきっかけになった事があります。

小学生で少年野球、中学校のクラブ活動で野球を行っていました。

高校入試の時期が近づき、自分は大阪のPL学園に行こうと思って担任の先生(野球部の部長)に進路についての相談をしました。

その時先生から箕島高校はどうかと話があり、PL学園であれば甲子園に行っても大阪代表となる。いくつかの学校から誘いはあったようですが、箕島高校で甲子園を目指し出場となれば、和歌山代表として出場出来ると言われました。

箕島高校やその他の高校は公立高校なのでもちろん試験はあります。色々と考え箕島高校に決めて入学する事になりました。

その先生の話がなければ箕島高校へ入学しておらず、春夏連覇のメンバーにも入っていなかったし、尾藤監督とも出会っていなかったと思います。

高校の試験発表の次の日から練習に参加。当初一年生部員は約30名。和歌山からの入学は自分が一人でした。

その年は春の甲子園に出場し優勝して帰ってきている年です。部員も約80名でレギュラーを目指し練習に取り組む日々が続きました。

小・中学校と投手としてやってきて、高校でもまず投手として練習しました。春のセンバツで優勝してきた三年生エースの東先輩は、肘を故障していたので同じ一年の石井と二人練習試合、招待試合に同行し、試合に投手として出ていました。

夏の県予選のメンバーに背番号10番を貰い、県予選にベンチ入りし戦いましたが、決勝戦で田辺に敗れました。

次の日から新チームとしての練習が始まり、その秋に肘を痛めました。新人戦・二次予選・近畿大会とメンバーから外れ、春までの一冬、ボールの握れない日続き、そして甲子園の出場が決まりました。

その頃、軽いキャッチボールから始めている時に、監督からもう一度マウンドから投げてみろと言われ、ピッチングを行いました。

久しぶりに投げるピッチング練習は痛みもなく投げられ、その日から投球数を少しずつ増やしていきました。

ボールを投げられなかった時のことを思うと、本当に皆と一緒に練習、試合が出来る喜びを感じました。

春・夏とメンバー入りし甲子園へ。夏には中京戦で7回までに2本のホームランを打たれ敗れました。和歌山に帰って、次の日から自分達が一番上級生としての新チームが始まる時、自分は前に痛めた肘の事が頭に浮かび、守備位置を野手に変えて欲しいと尾藤監督に伝え、ショート守備位置に入り内野手としての練習が始まりました。

中学校一年の時にサードを守った事があった事と、打撃には少し自信があったので内野手としてやっていく事は何の躊躇もありませんでした。

上級生として5番ショートで試合に出場。近畿大会に出場し、春のセンバツ出場が決定。

春の甲子園での一番自分自信に記憶に残っているのは、準決勝のPL学園戦です。9回2アウト2塁一点差で負けている場面で、自分に打順が回ってきました。最後の打者には絶対になりたくないという気持ちで打席に入る前は、フォアボール・デッドボールでもと考えていましたが、打席に入る瞬間に「いや、ここで打てば男だ」と思い、バッターボックスに入り、結果は同点となる右中間の3塁打を打つことが出来ました。

延長戦となり、サヨナラ勝ち決勝戦へ進み、春のセンバツ優勝することが出来ました。

今度は追われる立場となり、夏に向かっての練習の日々。夏の県予選勝ち上がり甲子園出場が決定し、甲子園へ。

そこで、星稜高校と延長18回を戦う事となります。正直なところ、星稜高校には試合前、試合が始まってからは楽に勝てると思っていました。

それが蓋を開けてみると常に先行される展開となり、焦りが出てきました。

延長戦12回に1点を許し、その裏同点に。又も16回1点勝ち越され2アウトランナーなし、一塁ファールフライが上がった瞬間、負けた、終わったと思立ち上がりました。

その時、相手の一塁手が転倒し、次に2度目の同点ホームランでまたも生き延び、最後の18回場内アナ

ウンスが「この回で決着がつかない場合は明日の第一試合で再試合となります。」と流れ18回が始まりました。星稜の攻撃が終わり、負けは無くなりましたが、この回で決着をつけないと明日の朝一番の試合となります。

2試合分戦って皆疲れている。特にピッチャーは明日投げられるかも分からない。なにがなんでも勝負をつけるという気持ちで攻撃に入りました。

ランナー2塁で自分に打順が回ってきました。自分は12回、16回とホームランを見ているので「ここでホームランを打てば」と思い、ホームランを狙って打席に入りました。

高めのストレートを貰ったと思った瞬間、力んでつまってしまい左中間のポテンヒット。結果はヒットでもサヨナラ勝ちですが、自分では欲をかいていたように思います。18回の延長に決着がつき、チームが波に乗り、決勝まで行き春夏連覇が達成出来ました。その後の国体は台風のため途中で中止となり、春夏・国体の連覇にはなりませんでした。

後に、自分自身は読売ジャイアンツにドラフトで入団する事となりました。

先日亡くなりましたが、尾藤監督とは高校野球では3年間です。甲子園では尾藤スマイルと言われていますが、練習、私生活、試合でも鬼のように厳しく怖い存在でした。

けれども、心は温かく一人一人の性格を把握し、指導にあたっていたように思います。

今思い出すと、和歌山から通学していた自分に、遅くなったときは家に泊めてもらい、家族のように兄のように接して頂きました。

夏の甲子園出発の前日、頭を角刈りにして行き、練習中に20回位のピンタ、その後散髪屋へつれて行かれ、皆より短い丸刈りに。

甲子園で優勝し次の日の「おはよう朝日です」のテレビ番組でアナウンサーの「このメンバーで一番やんちゃは誰ですか？」の質問に尾藤監督は何の迷いもなく「上野です」と言われた事、思い出せばきり

がない位思い出はあります。

けれど、一番は厳しかった練習です。他校に比べて長くありませんが、だらだらするのではなく、今では考えられませんが水も飲めなく集中して練習した内容です。兎に角厳しかったです。

今でも高校野球で教わった事が役に立っています。諦めない、集中する、その他色々感謝の気持ち。中学の先生、尾藤監督、メンバー、OB、両親、その他周りの人。挙げれば限がありません。

高校野球では技術的なことはもちろん、精神面、礼儀、物事を諦めない、何事も集中して行う、感謝の気持ち、チームワーク等色々な事を学びました。

今でもたまに思い出し、役に立っています。

S・A・A報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

田原サヨ子会員 上野敬三様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話よろしくお願ひ申し上げます。

加納達之会員 2010年度版の定款細則が出来て、本日皆様のお手元にお届けいたしました。改訂に当り、ご協力有難うございました。ロータリー情報委員会

松本良二会員 上野さん卓話宜しくお願ひ致します。上野さんの絶頂期、箕島高校の黄金期たっぷり聞かせてください。

中村善夫会員 上野さん、お忙しい中卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

三木民生会員 我が家の家庭菜園で、すべての野菜が順調に育っており、友人に配布するのが楽しみです。

本日合計額 11,000円 今年度累計額 1,209,000円

*ロータリー財団

加納達之会員 三木民生会員 中村善夫会員

本日合計額 9,000円

*米山奨学

加納達之会員 三木民生会員 中村善夫会員

本日合計額 8,000円